

## 第209回6月定例教育委員会議事録

### 委員会次第

1. 開会宣言
2. 教育長あいさつ
3. 議事録の承認
4. 議題
5. 報告事項
6. その他
7. 閉会宣言

### 開会日時

令和元年6月26日（水）午後2時30分

### 会場

安来市役所 広瀬庁舎 会議室

### 出席委員の氏名

教育長	勝部 慎哉
委員	三輪 喜美代
委員	加藤 隆志
委員	岡本 亮啓
委員	小村 修司

### 出席者の氏名

教育部長	辻谷 洋子
教育部次長	青戸 厚志
学校教育課長	成相 和広
文化財課長	大谷 宏
給食教育課長	遠藤 朋範
教育総務課主幹	足立 隆博

#### 1. 開会宣言

午後3時00分 教育長が開会を宣言する。

#### 2. 教育長あいさつ

（教育長）朝から5つの学校への視察、お疲れ様でした。あと2校残っているが後日訪問したい。先月の教育委員会からの動きについては、議会も散会し、小学校の運動会も16校終わった。また、小学校では修学旅行もあったり、中学校では、市総合体育大会も終わって期末テスト期間の最中となっている。

### 3. 議事録の承認 第208回5月定例教育委員会

(委員) 議事録についてはいいが、文化財保護委員の委嘱について、広瀬の方がおられなかったと思う。もう承認されているし、動き出しているのでもいいが、地区割合とかバランスとか、そのようなことがないかなと思って見させてもらった。

(文化財課長) 地区のバランスは考えて選考し、お願いをさせていただいている。広瀬地域は加納佳世子氏をお願いした。

(委員) 布部地区の方なの、広瀬地区の方がおられないなと思って聞いてみた。今後考えるときに、広瀬地区のことがわかっておられる方にも入っていただければいいと思った。今後の課題としていただきたい。

(教育長) 会議録の承認についてはどうか。

(承認)

### 4. 議題

#### 【議案第9号 安来市小中学校通学区域検討委員会設置要綱について】

(学校教育課長) 資料1により説明。

汐彩団地の校区を検討する時に会議を開催したが、検討委員会の設置要綱がなかった。この度、和田南地区の校区を決めるのをきっかけに、今後同じように校区を決めることがあるかもしれないので、安来市小中学校通学区域検討委員会設置要綱を制定するという事で諮りたい

スケジュールをあわせて載せている。前回の説明時に、いつまでにという要望は言われなかったが、おそらく早い方がいいだろうということで、このようなスケジュールで予定した。教育委員会会議に諮るのが10月下旬を予定している。

(教育部長) 補足させていただくと、組織の委員10名というところで、1から8まで書いてあるが、その校区を決めるにあたって、まったく利害関係のない方に入っていたらこうと思っていたが、市長に相談をかけた時に、やはり関係者が集まって相談して決めるような形がいいのではということがあり、自治会協議会代表者であれば、十神地区の代表者、島田地区の代表者、交流センターも十神交流センターと島田交流センターとか、そういった形で、関係のある地域の方に入ってください協議をしていこうかと考えている。

(委員) 十神と島田の協議会というのは、全体の会長となるのか。

(教育部長) 連絡協議会全体の会に、それぞれの地区の代表の方が集まっているので、その地区から出ていただこうかと思っている。

(委員) 代表する自治会長は、和田地区の人ではなくて。

(教育部長) 和田地区の人ではなくて、島田地区の代表の方に出てもらう。また、この間説明に来ていただいた、和田南土地区画整理組合の理事長にも入ってい

ただこうと思っている。

(教育長) 具体的な個人名とかはまだここに入っていないが、例えば小学校長会の代表者というのは、十神小学校の校長先生、島田小学校の校長先生、中学校は一中となるか。

(教育部長) 中学校は一中ですよという確認が校区を決めるにあたってはいると思っている。

(委員) 委員が10名超えそうだが。

(教育部長) 10人というのはとりあえず入れているが、まだ案の段階なので人数の変更はきく。今後要綱を使って他の地区でまた同じようなことが出てきた時に困らないように、この10人以内というのはもう少し幅を持たしたほうがいいかもしれない。

(教育長) 「識見を有する人」というのは基本的に1人と考えていいのか。「教育委員会が適当と認める者」を1人と考えると、11人、12人くらいにすればどうか。あるいは「以内」というのをやめて、「程度」というのはどうか。

(教育部長) 「程度」というのは、規程上おそらく通用しないと思うので、15人にしておけば収まると思う。

(教育長) では、第三条の「委員会は、委員10人」というのは、「15人以内で組織する」ということにする。私が委員会に諮問をして、答申をいただくということになるか。

(教育部長) 条例に基づく委員会などは「諮問」「答申」という言葉を使うが、そうではない設置要綱等に基づくものであれば「諮問」は使わず、「求めに応じ」というようになる。

(教育長) 設置要綱、スケジュールについてよろしいか。

(承認)

【議案第10号 「令和2年度文教施策とその予算措置に関する要望」に係る意見について】

(教育長) 毎年安来市教育委員会として、継続して要望してほしいもの、あるいは削除していいものに丸を書いて出すことになっている。県や県教育委員会あるいは国に対して要望をする事項に分かれている。「【R1 新規】」と書いてあるところは、令和元年度に初めて出されたもの。それ以外のところは、継続しているところだが、まだまだ要望が通っていないものについては印をつけている。

委員の皆様から、これをというようなことがあれば、あるいは、安来市としてはこうがいいのではないかとということがあれば見ていただきたい。

(委員) この「R1 新規」と書いてあるもので、例えば2番の2つが新規ということか。

(教育長) そうです。大きな枠組みとして、教職員の負担軽減施策の推進という大きな項目で①②をあげている。おそらく以前はそういう問題はお出なかったと思

う。

(委員) 部活動について要望しないと財源を確保してもらえない。国からも部活動は指導員を確保してやってくださいと言ってもいいくらいの話じゃないかと思う。前々から、予算措置ができれば部活動指導員がいいのではないかと思っていた。

(教育長) 地域指導者は、安来市は今6～7人お願いしているが、年間で20万円くらい。部活動指導員になっても年間60万円くらい。部活動指導員になると責任はすごく重くなって、引率や練習計画の対応や、保護者対応などをしなくてはならない。現実として、この収入で、そこまでやってくれる人がどれくらいいるかと思っている。

(学校教育課長) 中学校部活動というのは、そもそも競技者として力を発揮することもあるが、教員が担当して指導しているものもあるので、目的は健全育成。学習も生活も部活も、学習で惹かれない子が部活に惹かれるとか、部活したいから宿題するとか、とにかくセットとなっている。その子の成長を促す、部活動を入れることによって、健全育成を図るということが一番の目的となっている。その中で、もっと上を目指したい子がいれば、高校等に進学して、そこから伸びていく。

(委員) 高校が全国大会でベスト8以上じゃないと推薦できないとか、そういうことがある。目指す高校のために、中学校を疎かにすると、目的の高校に行けない。それもあって全国大会に出たい。団体戦も出たい。そういう実績を得たいという声も聞いている。

(教育長) では要望については、特にこのままでいいか。またお気づきの点があればお願いしたい。

(了 承)

**【議案第11号 平成31年度全国学力・学習状況調査結果の公表について】**

(学校教育課長) 今年度の全国学力・学習状況調査について、結果が7月に返ってくる。夏休み中に市教委で分析等を行って学校へ返し、9月にはHPに載せるという流れで例年いく。今年度も全体、各教科の市内での順位等については公表しない。ただし、各校の中で自分の学校はこの位置にいるという資料は出す。HPには、小学校の算数、国語、英語の安来市全体の傾向を載せる。県との比較、全国との比較、各校との比較のところは、それぞれの学校にはわかるように返していきたいと思っている。昨年度同様の形で公表したい。

(教育長) HPへの公表については例年のとおり、安来市としての傾向は出すが順位は出さない。安来市としての位置がわかるようにお知らせする。今まで通りでよろしいか。

(承 認)

5. 報告事項

- 1) 市議会6月定例会議について
- 2) 令和2年度使用中学校用教科用図書採択について  
———— 非公開 ————

6. その他

- 1) 総合教育会議について

☆次回定例会：7月29日（月）午後3時00分

7. 閉会宣言

教育長が午後3時35分閉会を宣言し、6月定例委員会の日程を終了した。